

## 第7回 みやざわ苑運営推進会議 議事録

日 時 平成28年 6月16日 (木曜日) 13:30～15:00  
場 所 地域密着型複合施設みやざわ苑 2階 地域交流ホール

出席者 グループホームご利用者代表  
小規模多機能型居宅介護ご家族代表  
特別養護老人ホームご家族代表  
知見者代表 (栃尾福祉会理事長)  
地域住民代表 (栃尾宮沢区長)  
地域住民代表 (栃尾宮沢区民生児童委員)  
長岡市介護保険課支援員  
地域包括支援センターとちお  
法人代表 (いずみ苑園長)  
法人代表 (いずみ苑事務長)  
特別養護老人ホーム管理者  
グループホーム管理者  
小規模多機能型居宅介護管理者 / 計 13名

欠席者 特別養護老人ホームご利用者代表 欠員  
小規模多機能型居宅介護ご利用者代表 欠員  
グループホームご家族代表 / 計 3名

### 議事次第

1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について  
特別養護老人ホーム  
グループホーム  
小規模多機能型居宅介護
2. 事故及びヒヤリハットの報告について
3. グループホームの外部評価について
4. その他

## 開 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

（本日の資料確認）

お揃いですので第7回みやざわ苑運営推進会議を始めたいと思います。本日は経過報告で写真を見ていただこうと思ひ、いつもと配置が違いますが、よろしくお願ひします。

### 1. 経過報告及び入居者・利用者の状況について

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

○ みやざわ苑行事等経過 … 資料に沿って説明する

（別紙：平成28年度みやざわ苑の状況参照）

4月の運営推進会議以降の経過です。地域との関わりでは、

5月11日：東谷保育園来苑

5月21日：家族協力会役員会・総会・花植え

5月29日：栃堀うたごえクラブ来苑

後で写真を見ていただき再度説明いたします。

○ 地域密着型複合施設みやざわ苑の状況 … 資料に沿って説明する

（別紙：地域密着型複合施設みやざわ苑の状況参照）

平成28年6月7日現在（資料を送付した日）の在籍者数です。

#### 特別養護老人ホーム

定員：29名、現在在籍数：29名。内入院者1名です。

#### 小規模多機能型居宅介護

4月は登録者11名でしたが、現在は13名です。まだ回復しきれていない状況ですが、この後家族と面談予定がありますし、その他介護支援専門員と調整中のかた等もいます。今後も声をかけながらやっていきたいと思ひます。

#### グループホーム

定員：18名、現在在籍数：18名ですが、なごみユニットの入居者が1名転倒されて現在入院中です。

○ 写真鑑賞 … 特養・GH・小規模の順に説明を加えながら紹介し見ていただく

## 質 問・意 見

知見者代表

小規模多機能の登録数13名中、泊まりの充足率は50%位行っているか。職員数は？

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

登録を解消した人が泊まりのニーズが高かったので、今は少なくなり長期間利用のかたはいなくなりました。とても50%には満たないです。通いと訪問のニーズの方が高くなっています。職員数は11名です。

知見者代表

先ほどの報告の中で、小規模は個別の利用プランが確立していないので、それぞれが自由に時間を過ごしていただいていると言われたが、個々のプラン作成はどうなっているのか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

個々のプランは作成しています。従来のデイサービスのように、午前中は入浴、午後はレクリエーションというようなプログラムがないという意味ですが、外出や体操、手作業等色々な働きかけを行い個別対応に努めています。

## 2. 事故及びヒヤリハットの報告について

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

（別紙：平成28年度事故発生状況調べ他参照） … 資料に沿って説明する

前回の運営推進会議から、事故4件、ヒヤリハット4件、計8件発生しています。内訳は特養6件、小規模1件、GH1件で、転倒5件、転落1件、薬の関係が1件です。

表の中に“床センサーマット”がありますが、これは職員が別の人の介助中とかで、全員の見守りができないため、コールを押さずに動こうとされ、転倒につながるような不安がある人に使用しています。ベッドから床に足がつくと、職員の電話につながるようになっていきます。

グループホーム管理者

表の一番下のかたについて説明します。改善策が立ててありませんが、退院される時の状況で検討する予定でしたので白紙になっています。

歩行器使用。ほぼ一人で動いておられたかたです。なるべく見守りをするようになっていました。自分で手洗いし歩行器につかまろうとした際にふらつき転倒、骨折の診断で現在入院中です。GHに戻るのが厳しい状況になっています。

### 3. グループホームの外部評価について

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

グループホームは外部機関から評価してもらい、その結果を独立行政法人福祉医療機構のホームページに掲載することになっていて、6月にその外部機関が来られました。

グループホーム管理者

経過としては、5月に家族にアンケート用紙を送付、回答をもらい、6月2日依頼した外部評価機関の職員2名が来苑、管理者及び職員に評価のための聞き取り等がありました。評価結果は別紙の通りで、次のステップに向けての期待として、6点課題が挙がりました。

1. 職員の誓いについて

定期的な振り返りの機会を設けて見直しすることが必要。

2. 身体拘束・虐待防止の研修について

法人内部研修及び外部研修に参加していたが、新人職員への対応ができていなかったため、周知の機会を設けることが必要。

3. 運営に関する職員意見の反映

月1回GH会議を実施しているが、職員個人の要望、悩み等に管理者としての対応が必要。

4. ケアプランについて

家族とのやりとりは電話が主だったが、経緯が分かるように記録することが必要。

5. ケアプランの日付について

日付の未記入及び前の日付のままの入力があつた。記入漏れのないよう記載が必要。

6. 避難訓練の地域参加及び地震想定訓練について

地域の人を含めた避難訓練と地震想定避難訓練の実施が必要。

今後、問題点と課題に対して目標を立案し、目標に向けた具体的な取り組みを職員間で検討し、1か月以内に長岡市へ提出することになります。

### 質 問・意 見

知見者代表

特養は外部評価を受けなくて良いのか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

特養は、やった方が望ましいとは言われていますが、義務付けられてはいません。

知見者代表

有料ですか。どの位の金額がかかるのか。

↓

グループホーム管理者：河村 勝彦

金額は2ユニットで76,000円です。5年間は毎年行い、その後は2年に1回で良いことになっています。

特別養護老人ホームご家族代表

何でグループホームは外部機関なのか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

グループホームは居住する形なので、地域密着型でも小規模多機能ほどの地域との関わりがないため、外部機関（調査機関）が入るのだと思います。小規模多機能は地域のかたが通ったり、泊まったりしますので、地域の運営推進会議のメンバーの皆さんになったようです。両方とも外部機関です。

知見者代表

道の駅の清掃活動は毎月行っているのか。活動範囲はどの位か。

↓

グループホーム管理者

毎月第3月曜日の午後から予定しています。道の駅はイベント後に清掃されていると思われ、そんなにゴミはありませんが、川沿いには空き缶等のポイ捨てがあり、散歩コースや草むらに落ちているので、その辺を重点的に行っています。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

栃尾宮沢地区も4月の第2日曜日に地元の清掃活動を実施した。堤防沿いが一番ゴミが多く、レジ袋に入れた状態で置いて行くとか、投げ捨てるといったことが見受けられます。後は風で飛んで来たゴミもあり、堤防沿いが一番大変。想像ですが、地元の人と言うよりはよそから来られた人が置いていくケースが多いのではないかと思います。

地元を含めた地震の想定訓練という話がありましたが、地震では、地元として助けができる状態になるまでには時間がかかり、なかなか難しい面があると思っています。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

地震の場合、この建物なのでみやざわ苑は大丈夫だと思います。おそらく私どもの方がお手伝いする形になるかと思っています。

知見者代表

栃尾宮沢地区の人がここに集まり、炊き出しをする等の避難訓練をしたらどうか。

↓

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

7月13日に火災想定の間避難訓練を予定しています。夜勤者6人の中でどれだけ行えるかをやってみます。電話で職員の呼び出しをする以前に、夜勤者だけでどこまでやれるか。方法は全員を逃がすのではなく、危ない場所のかたが煙や火にまかれないう、集中的に避難、誘導するものですが、避難場所は屋内ではなく2階のバルコニー等の空間に出して、消防隊、消防団の救助を待つというものです。消防の考え方としても新しいらしいです。少ない職員数で特養入居者29名を1階に避難させることは無理ですので、その線でどこまでできるか時間を計ってみようというものです。栃尾宮沢区の皆さんからは救援というより、6人以外の職員と一緒に見ていてもらい、実際の時はどうやるとか、居室の場所、階段の位置等を知ってもらうことを主目的でお願いしました。

地域包括支援センターとちお

グループホームでの、おりなすの清掃を始められたということで、とても良いことだと思いますが、その他にこういうことをしてみたいとか考えていることはありますか。

↓

グループホーム管理者

今のところは、小規模と一緒におりなす清掃を行っていますが、それが定着して来たら次のステップを考えていきたいと思っていて、それ以外はまだ考えていません。

地域包括支援センターとちお

他のグループホームは、平区のお地藏様の清掃を始めて地域からとても喜ばれているようです。

↓

グループホーム管理者

栃尾宮沢地区は、お地藏様の掃除と花植えは老人クラブさんに依頼していて、人数も足りていると言われたので、おりなす清掃になりました。

特別養護老人ホームご家族代表

一度に多くを加えすぎてもなかなか大変なので、継続的にできることが一番大事。できるところからやっていったら良いのではないかな。

地域住民代表（栃尾宮沢区長）

徐々に地元との交流を深めていってもらえればいいと考えています。

#### 4. その他

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

今回の運営推進会議について、8月18日を予定していますが、11時会議開始でメインは食事です。年間計画では試食会と記載してありますが、特養と小規模にお出ししている食事を実際に食べていただいて、その検討会をいたしたいと思います。昼食会ではないので皆さんから費用はいただきません。特別な食事ではなく、普段日常にお出ししている物を食べていただきます。会議終了後の12時頃から食べていただき、検討をお願いします。評価いただく用紙も準備しておきますので、よろしくをお願いします。

長岡市介護保険課支援員さんは今日が初めてですが、いかがでしたでしょうか。

長岡市介護保険課支援員

初めて参加させてもらいました。色々話を聞いた中で、地域との交流はまだまだこれからののだなと感じました。これから色々な取り組みをしていただけてほしいと思います。

#### 質 問・意 見

法人代表（いずみ苑園長）

運営推進会議でいつもお願いしていますが、小規模の登録がまだ13名です。職員も一生懸命努力をしていますが、なかなか登録数が伸びない。やはり制度を理解していないところがあるのではないかと思います。小規模の内容をもっとPRしたり、良いところは口コミで宣伝する必要があるのではないかという意見ももらいました。委員の皆さんからも口コミでの宣伝や、該当者がいましたら担当職員か施設長に話をしてもらい、登録者の数を増やしていきたい。新年度が始まって3か月が過ぎようとしています。早めに充足して登録者25名にもっていききたい。運営自体財政的にも本当に厳しい状況が続きますので、私たちも一生懸命努力しますが、皆さんのお力添えをよろしくお願いします。

小規模多機能型居宅介護ご家族代表

妹がお世話になりとても助かっています。生活支援の良いところがたくさんあるのに、内容的なものを理解していないかたが多いのではないかと感じます。説明ができる場所を設けて、積極的に中身のPRをすることが必要ではないか。とかくお金の問題でみやざわ苑といずみ苑を比較してしまうが、都合の良いことがいっぱいあるので、そんなに高い訳ではないと思う。

知見者代表

小規模は利用の仕方が非常に難しいと思う。私もまだ良く理解できていない。一般の

かたから分かってもらうために、1か月の利用例みたいなプランが見えると良いと思う。

↓

#### 小規模多機能型居宅介護管理者

その通りでなかなか難しいところがいっぱいあります。先般、各地域の民生委員や居宅介護支援事業所を回ってその辺りの説明をして来たところですが、介護支援専門員も理解していないかたがいた中で一般のかたへの理解はなかなか難しいと思います。通いが15名、その中で泊りが9名とか、時間帯とか、説明を聞いてやっと理解したという声もありました。新潟の方ではパンフレットを作って配った位で、小規模はなかなか分かりづらいサービスだと思います。それで、栃尾宮沢区にお願いしたいことがあります。昨年度皆さんに外部評価をしてもらった中で、小規模の浸透、アピールの一環で地域にチラシを配布、回覧したいと改善策を立てさせていただきました。ご確認いただき問題なければ回覧板でお願いしたいと思っています。

#### 地域住民代表（栃尾宮沢区長）

栃尾宮沢だけでなく、東谷全体に地域を広げていけば理解が深まるのではないかと思います。

#### 特別養護老人ホームご家族代表：西川 完 様

色々なタイプの利用者がいられるが、どのような使い方をした場合に、どの位のお金がかかるかが分からないと、判断材料がないので聞いてみようというところまで行かないと思う。よそに比べてこういうサービスが充実しているとか、料金はどうなるとか、こういうケアが受けられるとか、使ってみようかと思わせる物が必要なのではないかな。

#### 知見者代表

幾つかモデルケースを作って提案したらどうか。

#### 小規模多機能型居宅介護ご家族代表

全体的にこうだと言われても分かりにくい。具体的に例を挙げて示してもらった方が良い。実際、生活支援で買い物まで手伝ってもらってとても助かっています。こういうこともできますよということが分かれば、使ってみようかなということになるのではないかな。

#### 地域住民代表（栃尾宮沢区長）

それと、介護度はどの程度の人が利用しやすいのか。表を見ますと平均2.1で小規模が一番軽いですが、自分はどうかかと参考にできると思うので、その情報もあつた方が良くと思います。

#### 特別養護老人ホームご家族代表

要介護度を知らない人もたくさんいる訳だから、「疑問のかたは先ずはご相談を！」という形を取って行けば、じゃ電話してみようかなとかというかたも出て来ると思う。お金のこと、支援サービスのこと、要介護度のことなどがきちんと分かるようになれば、利用者も増えて来るのではないか。区民が求めている内容を示せば回覧も意味があると思う。

#### 地域住民代表（栃尾宮沢区長）

活動はこういうことをしていますよとか、内容はこうなのですよという話は理解できるかと思いますが、実際利用する場合どういう人が対象者なのか、或いは金額的にはどの位になるのかというものが知りたいところかなと思います。

#### 知見者代表

認定を受けていないと要介護度も分からないし、受けていてもどの位の支援が必要なのかなんて分からない。要介護3以上とか余程家で困らなければ利用しないと思う。要支援や要介護1や2位では、余程制度を理解していないと利用しないと思う。

#### 特別養護老人ホームご家族代表

せっかく良い物が地域の中にあるので、分かり易い説明書ができれば、宮沢区だけでなく東谷地域の区長さんをお願いして回覧板で流してもらおうとか、総会で説明の時間を取っていただけませんかというようにもっていったらどうか。

#### 知見者代表

通いも泊りも訪問も同じ職員が行いますということが書いてあるが、訪問してどんなことを行うのか、毎日訪問してくれるのか、そういうことが分からない。受ける方としては具体例を示して説明してもらえることが一番。同居家族がいられたかた、高齢者世帯、独居によって利用の仕方が違って来ると思う。特養になかなか入れない訳だから、小規模を利用して特養を待つという方法があると思う。利用の仕方をどのように説明するのが一番良いか。

#### 小規模多機能型居宅介護ご家族代表

有効な方法は口コミだと思う。回覧板も良い手段かと思うが情報は口コミが一番。

#### 特別養護老人ホームご家族代表

小規模のチラシを目にした時や、何かの時に聞いてみたいと思った時に、聞きやすい状況があると良いと思う。

知見者代表：

みやざわ苑のパフレットだけでは、とても経費がどれ位かかるかなんて分からない。自分では計算もできない。

法人代表（いずみ苑園長）

例えば、要介護〇の人が、泊まり・通い・訪問を〇〇だけ利用すると、月に〇〇〇〇円になるとか、具体例を挙げるのは貴重な意見だと思うので、ケース、金額、サービスを含めたものを数例出してもらいPRしてもらいたい。

経過報告等もちろん大事ですが、こういう話をしていただくのが運営推進会議だと思うので、こういう議論、進め方が良いと思います。

知見者代表

小規模を黒字にすることはどこもかなり難しいらしい。市が積極的に進めている事業だが、どこも厳しくなかなか苦戦していると聞いた。まずは種まきをたくさんして利用者増に取り組んでももらいたい。

地域住民代表（栃尾宮沢区民生児童委員）

プランを立てる時は、本人に希望を聞いて立てているのですか。

↓

小規模多機能型居宅介護管理者

本人及び家族の希望を聞いて立てています。同居家族がいられる場合や独居の場合では利用の仕方も違います。土・日は家族がいるから訪問は要らないとか、寂しいから顔を出しに来てもらいたいとか…。泊まりは特養やSSとは違い、負担限度額がきかないため割高感があるようです。

先ほどからご指摘をいただいておりますが、使い方のパターンで金額が違って来ますので、分かりづらいというのはその通りだと思います。利用の仕方について具体例を考えて、もっと発信していきたいと思います。

## 閉 会

みやざわ苑施設長（特別養護老人ホーム管理者）

時間が大分超過しましたが、貴重なご意見ありがとうございました。他になければこれで第7回運営推進会議を終わります。大変ありがとうございました。

○ 第8回運営推進会議開催日について

平成28年 8月18日（木曜日）11：00～